

## 2023年7月 紀南病院 研修医通信 vol.130



(松阪市民病院 研修医2年目  
近藤瞭太郎)

2023年7月の1ヶ月間紀南病院で研修させて頂きました。

今まで地域医療とは漠然としか捉えていませんでしたが、実際に診療所へ行くことでより具体的に考えられるようになりました。一口に診療所と言っても医療へのアクセスが

それぞれ異なり、医療資源の限られた環境で各々に応じた対応の難しさなど教えて頂きました。ご多忙の中、佐藤先生をはじめとした先生方やメディカルスタッフの方々には凄くたくさんのお世話を優しく、丁寧に指導頂きまして感謝の念に堪えません。この経験を活かして今後も励んでいきたいです。ありがとうございました。

(鈴鹿中央総合病院 研修医2年目 梅澤紘子)

梅澤です。毎日が新鮮であつという間の1ヵ月でした。入院患者さんが高齢の方が多かったり、医療へのアクセスが困難な地域での診療所研修であったり、初めて経験させていただく事が多く、色々考えるきっかけとなりました。へき地における遠隔診療の技術や、訪問診療で患者さんの生活の場に出向くことで気付けることなど、驚くことも多かったです。院内、院外での研修を通して、地域で生活されている患者さんやご家族の気持ちを大切にしている医療者の姿が非常に印象に残っております。指導医の



池田先生を始め、丁寧にご指導下さった先生方、優しく声をかけて下さった病棟・救急外来の皆様、研修を支えてくださったスタッフの皆様、大変お世話になりました！学んだことを生かして、三重県の医療に貢献できるよう精進して参ります。ありがとうございました。

(済生会松阪総合病院 修医2年目 橋本裕司)

橋本です。1ヶ月間とても短く感じましたが充実した研修生活を送ることができました。院内の職員の方々はもちろんのこと、地域の住民の方も温厚な方ばかりで人の温かさをよく実感しました。診療所では医療スタッフと患者様が相互に距離が近く感じ、良い信頼関係が良い医療に繋がっていると感じました。また川、海、山など自然が豊かで地域ならではの経験もたくさんさせていただきました。指導医の渡邊先生をはじめ、医局の先生方、紀南病院職員の皆様、各診療所の皆様、地域の皆様、1ヶ月間お世話になり、ありがとうございました。この1ヶ月の経験を糧に今後の研修生活を送りたいと思います。

(東京大学医学部附属病院 研修医2年目 前田瑞恵)

研修医前田です。紀南病院には地域・外来研修で参りました。この2ヶ月間は診療所での再診外来、診療所から紹介になる紀南病院での初診外来、救急外来、病棟管理、訪問診療と、病気になってから退院した後まで様々な段階の患者さんを担当することができ、非常に学びの多い日々を過ごすことができました。業務後には、虫取りや川遊びに行き、ヒラタクワガタやテナガエビなどを捕まえて、自然を満喫しました。指導医の新田先生、津呂橋さんをはじめ紀南病院の先生方、職員の皆様、各診療所の皆さまには大変お世話になり感謝の気持ちでいっぱいです。三重県で学んだことは、今後の診療に活かしていきます。本当にありがとうございました。

